

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

世界の言語研究所（16） 沖縄言語研究センター（日本）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://repository.ninjal.ac.jp/records/2149">https://repository.ninjal.ac.jp/records/2149</a>

## 沖縄言語研究センター (日本)

かりまた しげひさ (琉球大学)

### 1. 設立の経緯と組織

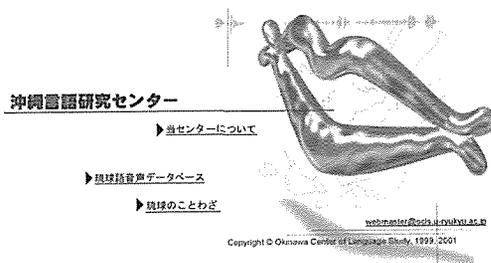
沖縄言語研究センターは、沖縄において言語教育や言語研究に携わる人々が相互の研究発表、共同研究を推進する機関として1978年に発足した民間の研究組織である。設立に際しては琉球大学で故仲宗根政善(初代代表、琉球大学名誉教授)の教えをうけた琉球方言研究クラブの卒業生が中心になった。代表(上村幸雄:琉球大学名誉教授)、研究運営委員長(屋比久浩:琉球大学名誉教授)、副運営委員長、運営委員を中心に活動している。会員会費で運営され専任スタッフはいない。

### 2. 研究プロジェクト

伝統的な琉球方言が変容、衰退していく状況に対する危機感から、1979年に琉球方言を調査、記録するプロジェクト「琉球列島の言語の研究(10年計画)」をたちあげた。当初は琉球列島の200地点の方言について調査する計画(「基本調査」)であったが、1982年度には琉球列島のすべての伝統的な集落の方言について200の語彙項目を調査する新たな計画(「全集落調査」)を追加し、期間を12年に延長した。

基本調査(第1調査票~第4調査票)は、身体、親族、動物、植物、自然、道具、数詞、代名詞、形容詞、擬声擬態語など1024項目を調査するもので、全集落調査は基本調査票から精選した基礎的な名詞と動詞(おおまなか活用型がわかるよう肯定動詞の叙述法・現在形、過去形、第二中止形、否定形)など250項目を調査するものである。

1982年には名護市教育委員会と共同で沖縄本島北部地域の全集落調査を、1984~1987年には沖縄県教育委員会の委託事業によって沖縄県下の基本調査と沖縄本島南部、宮古諸島、八重山諸島の全集落調査を、1988~1993年には那覇市教育委員会の委託事業「那覇市方言記録保存事業」によって那覇市内の基本調査と全集落調査を実施した。鹿児島県下奄美地域の全集落調査は文部省科学研究費等によって行なった。全集落調査に関しては調査可能な伝統的な集落850



沖縄言語研究センターのホームページ

<http://www.ocls.u-ryukyu.ac.jp/>

地点の調査を終了したが、基本調査に関しては着手された140地点のうち調査が完了した地点は68地点である。補充調査や追加調査、言語地図作成の仕事がおおきく遅れている。

「那覇市方言記録保存事業」では言語地理学的調査のほかに、那覇民俗方言語彙の調査、那覇方言による諺・物売りの掛け声・方言ニュース（ラジオ番組）などの録音・保存・テキスト作成、沖縄芝居（方言台詞劇）の脚本の作成などを行なった。また、既刊の大型の方言辞典（『沖縄今帰仁方言辞典』『奄美方言分類辞典』『石垣方言辞典』など）の全項目と用例の録音を行なった。

録音した音声と文字資料をリンクし、琉球大学附属図書館のホームページ（<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/>）の「琉球語音声データベース（DB）」で「首里那覇方言音声DB」「今帰仁方言音声DB」を公開し、沖縄言語研究センターのホームページ（<http://www.ocls.u-ryukyu.ac.jp/>）の「琉球語音声DB」で「奄美方言音声DB」「宮古方言音声DB」を公開している。

### 3. 現在の活動

全集落調査で得られた資料を整理し、沖縄本島北部方言の言語地図を作成中である。これは『名護市史言語編』（沖縄県名護市史編纂室）に掲載予定である。沖縄県西原町の町史編纂室と共同で『西原町史言語編』の刊行にむけた方言調査も実施している。

年1回の講演会・公開研究会、月1回の定例研究会を行なっている。1988年度に「仲宗根政善記念研究奨励金」を制定し、会員によって推薦された若い研究者（2004年度までの合計21人）に奨励金を授与している。

「首里那覇方言音声DB」の検索画面

2004年度活動：①講演会「山原方言の音声」津波古敏子、「古代日本語のワ行子音 [b] 音化について—宮古・八重山方言を中心に—」内間直仁、「那覇方言研究」野原三義。②公開研究発表「八重山小浜方言の音韻について」仲原稜、「琉球方言の母音変化をかながえる」狩俣繁久、「米国民政府立英語センターの設立と活動」石原昌英、「山原方言の形容詞」新里幸昭。③定例研究会「山原（沖縄北部）方言の動詞の活用」狩俣繁久、「首里方言の敬語体系」西岡敏、「山原地域屋敷集落の方言」高江洲頼子、「沖縄北部方言の概観」狩俣繁久、「宮城県登米郡中田町方言の動詞のパラダイム」佐藤里美、「宮古伊良部島伊良部方言の音声」琉球方言研究クラブ。